目　次

◆ 冒頭

02　塾長挨拶

◆ ビーキッズ

03　ピグマリオン英才能力開発コース
06　附小入試対策コース
08　英才個別算数コース「実感算数」
11　こくごの達人
13　小学英語「we　can！」
16　ビーキッズぷらす（ステップ・ジャンプ）
17　ことばの学校

◆ 小学部

19　集団授業（中学受験コース）

◆ 中学部

21　集団授業（総合進学コース）

◆ 高校部

24　集団授業

◆ 個別指導ビーマイセルフ

25　個別指導ビーマイセルフ

◆ プログラミング

28　自考力キッズ
30　エジソンアカデミー

◆ その他

31　授業時間数と授業料（2026 年度）
34　お電話・メールでのお問合わせ
34　無料体験授業

進学塾Beeゼミナール　個別指導ビーマイセルフ　塾長あいさつ

数ある塾の中から、当塾のパンフレットを手に取ってくださりありがとうございます。

私たちは、地域に根差した進学塾として、
「学びに愛を、成果に感謝を、すべては自分から」をスローガンに掲げ、大学受験を目指して真剣にがんばる子ども達のサポートに日々取り組んでおります。

大学受験は人生の大きなターニングポイントであり、将来の夢や目標を実現するための重要な一歩です。しかし、志望校合格は一朝一夕には成しえず、時には壁にぶつかり、道に迷うこともあるでしょう。また、大学受験は情報格差や環境格差との戦いでもあり、優位な立場にある首都圏や都会の子と比べると、私たち鳥取の子ども達の視野を広げてあげる役割が重要となってきます。

当塾では、生徒一人ひとりの学力や個性に応じた指導を行い、「わかった」「できた」という成功体験を積み重ねることで、自信を育む学びの場を提供してまいります。
また、勉強だけでなく、自己管理能力や目標達成への姿勢も身に着けられるよう、きめ細やかなサポートを心がけています。そして、生徒に合った情報を提供できるよう、たとえ小学生であったとしても子ども達の未来を見据えて、大学受験を視野に入れて指導をしてまいります。

地域密着型だからこそ実現できる温かい指導、そして密度の高い学習環境で、全ての学年の子ども達を全力で応援してまいります。「ここで学べてよかった」と思える塾であり続けることが私たちの使命です。

これからも生徒たちの未来を切り拓くお手伝いができることを心より願い、スタッフ一同全力を尽くしてまいります。
ぜひ一度、私たちの塾の雰囲気を体感しにお越しください。心よりお待ちしております。

進学塾ビーゼミナール
個別指導ビーマイセルフ

塾長　山口　英晃

●ピグマリオン英才能力開発コース

新西町校・田島校

ピグマリオン教育の理念

① 「教える」のではなく「学ばせる」「感じさせる」教育

子どもは、教えるよりも自分で見つけたり、発見したりすることを喜びます。ピグマリオンでは、もちろんプリントも使いますが、様々なオリジナル教具によって「実感させる」ことにより、子どもたち自身の五感に訴える体験を重視します。この体験を通じて、子どもたちの思考力・想像力が伸びていくのです。

② 「愛する心を持った子ども」を育む

人間の能力の中で最も大切な能力こそ、「人を愛することができる」「高い社会性と思いやりを持つことができる」能力です。知識を詰め込んで教えても、そのような大切な能力は育ちません。自ら感じ、学び、問題解決をしていく中で、他の人に対する思いやりの心が育っていくのです。

③ **親子が共に**課題に取り組み、喜びを共有する

ピグマリオンの教育は、**親子が同室し**一緒になって取り組みます。親が子どもを愛し、子どもが親を信頼することこそ、健全な人間育成の基礎となります。一緒になって課題に取り組むことで、親子のきずなをより一層深めて欲しいと考えています。お子さまが新しく「できる」ようになった時に、一緒になって喜んであげてください。保護者の励ましがあることで、お子さまは次のチャレンジに向かって進んでいく原動力を得ることになります。

④ 「全体を見る」能力を育成する

全体を見る能力は、物事を観察する時の注意力や、五感で感じ取る能力に大きな影響を与えます。全体に注意を行き渡らせて観察することができることで、静かな心で学習に取り組むことができ、精神的に落ち着いて物事を考えることができるのです。

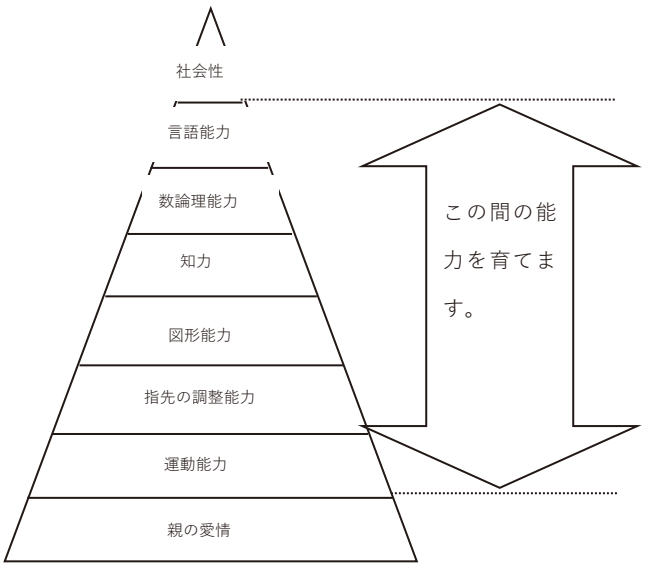
⑤ 「笑顔で」楽しく学べるので自信がもてる

ピグマリオンの教育法では、子どもたちが「できるようになったこと」を評価します。教えこむことによりできないことに目を向けるのではなく、前より多くのことを学んだことをほめるのです。したがって子どもたちは自信にあふれ、学ぶことに喜びを感じるようになるのです。

⑥ 幼児の内に、小学校低学年の学習内容を身につけられる

ピグマリオンは、学校の先取り教育ではありません。無理に知識を詰め込むことは、お子さまの学ぶ事への意欲を低下させるだけで、弊害しかないと考えるからです。しかし、感覚として数学を身につけた子どもたちは、幼稚園の内に、小学校2～3年の学習内容まで進みます。加減計算、漢字交じりの文を読むことなど、従来の教育では考えられないような成果があがるのです。体系立てた独自の教育法がお子さまの人生を豊かに実りあるものにしていくのです。

能力育成のための6領域



最近の脳認知科学では、能力を6つの領域に分けて考えています。「運動能力／指先の調整能力」「図形形態認識能力」「空間位置把握能力」「数論理能力」「言語能力」「社会性」の6つです。

ピグマリオンの幼児教育は、このうち「図形」「空間」「数論理」「言語」の4つの能力を中心に育成していきます。これらの能力を育むことで、高い社会性を持った心やさしい子どもが育つのです。

①運動能力／指先調整能力 指先を活発に動かせば、脳の機能も円滑に働いてきます。指先能力の発達による親からの肉体的な自立が、精神的な自立、そして知能の自立につながります。この能力を幼児期に育成することで、②～⑥の能力の育成を円滑にします。	②図形形態認識能力 図形を把握するための適切な刺激を与えることで、図形的刺激に反応する力を育てます。図形概念は、学習によって得られるものなので、幼児期に正しい方法で教育的な刺激を与えておく必要があります。	③空間位置把握能力 私たちが住むこの世界は、3次元空間です。空間という概念は、人間が自然を捉えるために創り上げたものですから、勝手に身についていくものではありません。幼児期に空間把握能力を適正に育成する必要があります。
④数論理能力 この能力は、数を数えたり計算をしたりという能力ではありません。数の概念をつかむことができるように指導するだけです。数論理能力とは、現実を数量的（長さ・時間・かさ・重さ）に把握する能力のことです。	⑤言語能力 言語能力は、国語科に限らず、全ての教科・性格・人生も左右する基本能力です。ひらがなから教えるのではなく、「文章を聞く」→「文章を見る」→「文字を書く」→「文章を書く」という、母国語を獲得していくのと同じ順番で書き言葉を習得させていきます。	⑥ 社会性 ①～⑤の能力を持つ子どもは、広い視野・全体への注意力・自ら学ぶ力がついているので、心も穏やかです。これらの能力を身につけたことを前提に、初めて自分の人生を豊かにし、社会の役に立てる子どもに成長します。

教具の紹介（多くの教具がピグマリオン・実感算数共通です）

ヌマーカステン

『5進法』から数の処理を学び、20 までの足し算・引き算を自在に行えるようにするための教具です。数の概念を、実感的に学ぶことができるように工夫されています。

ひも模様

楽しく遊びながら、集中力・注意力・持続力といった基礎能力を養い、指先調整能力と空間把握能力を関連付けさせながら同時に伸ばすことができます。

色板トントン

図形をお手本どおりに置いて、釘を叩いたり抜いたりすることで、指先能力を始め、図形形態把握能力を育てることの出来る教具です。遊びの中で楽しみながら指先能力を育成します。

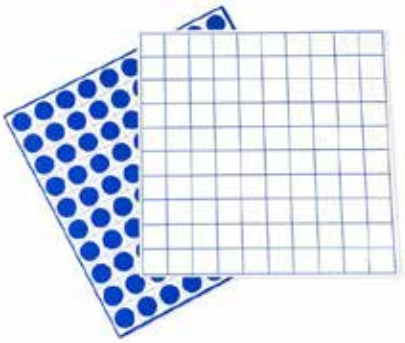
ウッディーブロック

数能力を養うのに最適な教具です。見えない積み木の数をイメージし、ブロック単位で合成・分解することにより、数の成り立ち、位取り、掛け算、割り算、分数の基礎能力の育成に驚異的な成果を発揮します。

ペリカンパズル

平面図形の形に彩った木のパズルを組み合わせることにより、半円や円、正方形、ひし形を形づくることが出来ます。
幼児期に必要な、図形形態認知能力・合成分解能力を、楽しく育成していただける教具です。

ドット棒C型



一・十・百・千までの位の数を、視覚的にとらえさせるための教具です。これにより、1万までの加減の暗算をすぐにできるようになります。
割り算、かけ算、面積、約数、倍数、分数、等差数列の考え方も理解させられます。

他にも算数の世界を楽しく学べる教具がたくさんあります。

体験授業を受けていただき、受講曜日を決定しています。お気軽にお問い合わせください。

●附小入試対策コース

新西町校・田島校

鳥取大学附属小学校入試に特化したコースです。全 36 回の3ターム制で、第 1 ターム 4 月～7 月の 12 回授業、第 2 ターム 8～11 月の 12 回授業、第 3 ターム 12 月～3 月の 12 回授業です。第 1・2 タームは親子同伴の授業形態となっています。

【 第 1 ターム：筆記テスト対策 】

基礎知育の養成に重点をおいています。実際の入試で今まで出された問題の傾向を分析し頻出問題を中心に対策をおこないます。ここ数年新しいタイプの問題が出題される傾向が続いていますが、初めて見る問題にも自分の力で考えることのできるピグマリオン受講生はしっかりと対応できているようです。はじめて勉強に取り組むお子様も、机の座り方や返事の仕方といった美しく正しい行動・所作の基本からはじまり、1時間の間しっかりお話の聞ける集中力を養っていきます。おうちで毎日 1 ページずつオリジナルドリルに取り組んで、学習内容の定着をはかります。

【 第 2 ターム：面接練習・グループ行動観察練習・模擬試験を実施 】

おうちではなかなかできないグループ行動の練習や面接練習がはいってきます。もちろんペーパーテストの内容も学習しながら毎月1回模擬試験を実施し、より実践的な対策授業を展開します。模擬試験などを通じて待ち時間の過ごし方や困ったときの質問の仕方などを身につけていきます。

※ご要望により個別レッスンも承っております。
お気軽にご相談ください。

【 第 3 ターム：小学生に上がるまでに基礎学習を先取り 】

入試後 1 年生になるまでに身につけておきたい基本的学習＝ひらがな・カタカナ・漢数字の読み書き・書き順や数詞、濁音・拗音と音読などを中心に授業を行います。小学校に上がるまでに学習の基礎を習得することで、ゆとりのあるスタートを切ることを目指します。

はじめははずかしくてなかなかごあいさつできなかった生徒さんが、コースも後半になると驚く程大きな声で「ありがとうございました！」としっかり目を見て笑顔であいさつをして帰られます。この入試対策コースを通じて、お子様の成長に驚かれる保護者の方がたくさんおられます。

できなかったことができるようになる。それをたくさん褒めてあげる。そうすれば子どもたちは自信をもって自分を発信していけます。それが積極性を生み出しいろいろな人とのつながりを生み出すのです。この講座で仲良くなられた生徒さんや保護者さんたちのつながりは鳥大附小入学後も大切な宝物になっているようです。

鳥大附小入試に合格する生徒さんたちは、しっかりと人のお話を聞くことができ、素直で協調性があり、なにごとにも落ち着いてとりくめる集中力をもっておられるように思います。附小入試対策コースを通して気持ちの良い行動・所作・あいさつなどを身に付け、お友達の意見を聞いたりみんなで話し合ったりする協調性を養い、なにごと

にも前向きに取り組む積極性を育てましょう。合格を目指すことはもちろんですが、お子様の豊かな人間性の形成にもこのコースは大きな成果をあげています。

第１ターム　４月～７月　全12回　親子同伴授業　60分授業　　月謝　8,800円(教材費別途)

第２ターム　８月～11月　全12回　親子同伴授業　60～90分授業　月謝　9,900円(教材費・模擬試験代別途)
※授業内容によって終了時間が異なります

第３ターム　12月～３月　全12回　お子様のみの授業形態　60分　月謝　6,600円(教具代別途)

最強コース！　附小入試対策　＋　ピグマリオン

高い入試合格実績を誇るピグマリオン生のお子様は、どうしてこうなるかを自分の頭で考えて答えを出すことが習慣となっておられるので、見たこともない問題も躊躇せず考えて取り組む姿勢を持つことができます。ですので、入試ではじめて見たり聞いたりする問題もあわてずしっかり考えて答えを導き出すことができるのです。入試の筆記試験で満点を取られた生徒さんもたくさんおられます。ピグマリオンのコースに入っていただくと、附小入試対策コースは特別価格にて受講していただけます。

□ピグマリオンコースと附小入試対策コースをとっていただいた場合、附小入試対策コースの料金は

第1期　ピグマリオン月謝　＋　2,200円(税込)教材費別途
第2期　ピグマリオン月謝　＋　3,300円(税込)教材費・模試代別途
第3期　ピグマリオン月謝　＋　2,200円(税込)教具代別途

となります。大変お得に受講していただけます。

土曜日コース　新西町校　午前クラス　10:00～、
午後クラス　13:00～
金曜日コース　田島校　15:30～

※各コース定員がございます。お早めにお申し込み下さい。

●英才個別算数コース「実感算数」　新西町校

幼児向けの英才能力開発の場で、めざましい成果をあげるピグマリオン教育。
当塾では、幼稚園年少～年長までを、「ピグマリオンコース」、小学校1年～4年までを「実感算数」コースと名付け、小学校高学年になるまでに図形・数論理・空間把握などの能力を高めていきます。（ご要望により 6 年生まで受講可能です）

実感算数教育の特徴

世間には「能力開発」をうたう幼児教室やプリント中心のパターン学習をする教室がたくさんあります。それらの中にはすぐれたところもありますが、反復トレーニングで子どもに無理を強いたり、無意味な暗記のために苦痛を与え、かえって子どもをつぶしてしまうようなところもあるようです。
「実感算数」はピグマリオン学育研究所　所長　伊藤恭氏が長年の指導経験にもとづき開発したもので、楽しく創造的な授業を通じ、本来子どもたちが持つ潜在能力を引き出します。

■特徴

⑴知識を詰め込むのではなく、学び取る力を育てる
詰め込まれた知識からは、子どもたちの能力が育ちません。将来役立つ能力とは、生徒自らが獲得したものだけなのです。ピグマリオンの「実感算数」は、知的ゲームなどを通じ、脳に適切な刺激を与え、数能力や図形能力を生徒自らに自然に学び取らせます。

⑵学ぶことが楽しくてたまらない授業
本当に自分の力となる能力は、「楽しみながら」でないと身につきません。「実感算数」の授業は子どもたちが「教室に行くのが待ち遠しくてたまらない」と口々に言うほど楽しいものです。

⑶授業は子どもが主役、子どもの心を大切にする
すべての授業は教具で遊びながら子どもが自然に学ぶことから始まります。そのような具体的な遊びを通じ、楽しく自然に抽象的な概念が形成されます。

⑷学校や学年のワクを超え、算数能力を大きく伸ばす
ゆとり教育の結果、算数の学力が世界先進国の中でどんどん下がっている深刻な状況をうけ、22 年の新指導要領改訂にともない小学校の学習内容は増加しました。さらに今の子供たちに求められるのは「思考力・表現力・発信力」といわれる 3 つの力です。小学校の教科書を改訂以前と比べると、思考力を問う発展問題をあつかっている教科書が圧倒的に増えましたが、それを学習するかどうかは現場の先生の判断にゆだねられています。実感算数の教材は学校や学年のワクを超え、子どもたちの考える能力を楽しみながら無理なく最大限に引き上げます。単なる計算だけでない、数学の持つ本当に美しい世界にどんどん引き込まれていきます。

「学び取る教育」がこれからの最先端

今までの日本の繁栄は知識を詰め込んだり、計算を早くする「教え込む教育」が支えていました。

しかし、それも限界に達しているのは周知の事実です。これからの日本の子供たちの頭脳を世界のトップレベルに育て上げるには、「創造力を高め、生徒自らが学び取っていく教育」が必要です。「実感算数」はまさにそれを実現するために開発された教材です。

■実感算数教育と従来型教育の違い

実感算数	従来型教育
学び取る教育	教え込む教
感性教育 **[感覚重視・五感をフルに使う]**	知識教育 [反復練習などを通じて覚え込む]
注意力を高める **[全体やそれぞれの関係を把握する]**	集中力重視 [一気に集中して暗記する]
思考力を養う **[深く考える]**	記憶力を求める [知識を詰め込む]
創造力を高める	暗記力を重 する
笑顔をつくる **[楽しく学ぶ]**	苦痛を伴う [受験 のためなどと納得させる]
人間力を育成する **[素敵な人間になることが目的]**	自己中心的になる [他と の競争に勝つなどが目的]
総合力をつける **[全体をみる]**	分析的になる [部分にこだわる]

ピグマリオン教育の創始者　伊藤　恭先生プロフィール

伊藤 恭(いとう　きょう) :1948 年　岐阜県生まれ　　ピグマリオン学育研究所代表

＜心と能力を同時に育てる＞独自のピグマリオン理論を構築し、幼児・小学校低学年学育に驚異的な成果をあげています。

特に、5 進法からはじめる数えない算数能力育成法は、伊藤氏が作成した独自の数能力育成学具「ヌマーカステン」「ドット棒 C 型」によって、年少児で 20 まで、年中児や年長児のほとんどに 1 万までの数の加減暗算を可能にしました。その他、九九からはじめないかけ算指導法は、芸術とまでいわれ各方面から絶賛を浴びています。

その結果、2～3 年間通っている生徒のほとんどが、小学校入学以前に、小 2～小 4 の能力を獲得しています。年長児～小 2 の中には、小 6 以上の数論理能力を持つものもいます。そしてピグマリオン卒業生の多くが、灘、東大寺、ラ・サールをはじめとした名門中学校に進学しています。2026 年度は難関中学で知られるに 101 名の合格者を出した関西大手塾「浜学園」が運営している幼児教室「はまきっず」でもピグマリオンによる指導が採用されています。

ビーゼミナールの実感算数　授業の流れ

＊ビーゼミナールの実感算数とは･･･ピグマリオン教育法による１対２の 55 分個別学習スタイルです。 お子様の力に合わせ、きめの細かい指導を行います。お休みされた場合も、月一回の指定の補習日にてご対応しております。

小1から小６までの内容を、無学年形式で学習します。お子様の能力やお子様の学習ペースに合わせて進めることができます。進度の速いお子様は、小４のうちに小６までの内容を学習し、5･6 年生では発展的内容を学習し、受験対策をすることが可能です。

授業のはじまりは、思考力を鍛える時間。頭の準備運動です。平面図形や空間認知、迷路や規則性など算数に関わるさまざまな問題が出題されますが、こどもたちにとってはあそびと同じ。考えることが楽しくてたまらない時間です。
そのあとは、テーマの導入。さまざまな教具をつかってわかりやすく数の世界を実感します。ときには実際に水の量を測ってもらったり長さを測ってもらったり、形を作ってもらったりしながら理解を深めます。あとは定着を図るための演習時間です。

思考力学習の時間 → テーマを実感する時間 → 演習する時間

家庭学習は、授業で取り組んだところの類題となっていますのでおうちでもとりくみやすくなっています。学校の学習内容とは違ったところを学習している場合が多いので、週に１回の授業をより効果的にするためにも家庭学習を毎日取り組み定着につなげていくことが必要です。達成の喜びとやる気を持続させるためにも、おうちの方からの宿題の取り組みに対するお声がけや励まし･褒めの言葉がけや、お子様の理解度の確認のために宿題の丸つけなどのご協力をお願いしております。

●こくごの達人　　新西町校

日本語(国語)の重要性

＊こくごの力って？なんだろう

こくごは全教科の土台といわれ、その重要性はご承知の通りかと思います。しかし国語のちからは、低学年のうちは特にバラつきがとても大きいものです。音読がうまくできなかったり、文字をおうのがやっとで内容がよくわからなかったり、字がうまく枠に入らなかったり、作文になると手が全く止まってしまったり、漢字を覚えられなかったり‥‥国語はいろいろな要素がもとめられる教科ですしそれらのちからが総合的にでそろうのは小学校3．4年くらいといわれています。ですから、このいろいろなちからが育つ低学年のうちこそ国語の能力を伸ばすには最適といえます。

＊ていねいに書くことの重要性

ていねいさに欠ける子は必ずと言っていいほど伸び悩みます。字をていねいに書くことができると、それだけで多くのことが得になります。テストを採点しても印象が違ってきます。大人になっても同じですよね。字がきれいな人はたいへん魅力的です。また、ていねいに書くことは、大切な内容を読み飛ばしたりせず要点を押さえること、あるいは、話のポイントを聞きもらさず正確に理解することにつながります。また、バランスのとれた美しい文字を書くためにはしっかりとお手本をみてそれを再現することつまり全体を見ることがもとめられます。細部に注意をむけながら全体を見る力は、知能発達に大きくかかわっています。ていねいに字を書いていくことが学力に多大に関係しているのです。

それではこの「ていねいさ」はいつ身につくのでしょうか？

私たちは小学校低学年のうちこそがていねいさを身につけさせるうえで重要な学年だと捉えています。いろいろな基本的姿勢を身につけるゆとりのある低学年のうちに、ゆっくりとていねいに書く習慣を身につける必要があります。

＊読解力を身につける

都会の中学受験を控える小学生と、鳥取の小学生との間で最も離れている力は「読解力」ではないでしょうか。事実、都会の中学受験の国語の問題の中には、大学入試に引けを取らない問題が出題されることがあります。漢字と言葉の意味さえわかれば両者は同じ「日本語」ですからね。小学生の段階で難解な文章を読み解く必要はありませんが、学年に応じた読解力を身につけなければ学年が進むにつれ他の教科にも影響が出てきます。

では、読解力をつけるにはどうすれば良いのでしょうか？たくさん読書をすれば身につくのでしょうか？確かに、本をたくさん読むことの出来る人は国語がよくできる場合が多いです。これはたくさん読むことで、文字処理能力が鍛えられるからです。そして読書が好きなお子さんは、文字があらわす世界を頭の中でイメージや図式化することができるのです。内容をイメージ・図式化で捉えるちからこそが国語の読解力の基本といえるでしょう。

また、正しい読解のためには、漢字の読み書きができ、語彙力を必要とすることは言うまでもありません。読書の習慣があり、興味をもっていろんな本を読みながら、わからない言葉が出てきたら自分で調べるようになれば素晴らしいですよね。自分の世界観を広めるために国語はほんとうに大切な科目といえるでしょう。

＊「こくごの達人」とは・・・ 1対2の 55 分個別授業スタイル。さまざまな角度からお子様の国語力を鍛える内容の授業です。お休みの場合も、月一回の指定の補習日にてご対応しています。

表現力養成　・・・ 子供たちの好きなしりとりやクロスワードパズル、かるた、文字をつかったさまざまなあそびを通じて国語の楽しさを実感します。また自分の意見を表現するためにいろいろな意見をだしてまとめていく作文授業なども行います。自分の自由な意見や感想を人に伝わるように文章化する力を養います。

文章読解力養成 ・・・ 物語・説明文・随筆文などに取り組んでいきます。音読をしたあと内容を確認。設問に取り組みます。設問に対する答えかたなどをおさえながらていねいに解答を仕上げていきます。翌週はその文章の内容を、作文用紙にまとめていきます。この活動を通じて長い文章の主題を読み取ることや正しいことばの使い方や原稿用紙の使い方などを学習していきます。

文法・語彙力養成 ・・・ むずかしい単語が出てきたらすかさず調べる。辞書引きを励行することで国語の楽しさがどんどん広がります。わからなかったら自分で調べる。人に聞くのではなく自分の力で調べることは、学習姿勢でもっとも求められるべきものです。多くのお子様が苦手な文法の内容も授業内で取り組んでしっかりとした国語の土台を育てます。

漢字力養成 ・・・ 2 年生からは漢字の導入としてイメージフィックス法を取り入れています。漢字が苦手な人は正確に覚えるという作業ができていない場合が多く見られます。大量練習をせずにしっかり頭に記憶することを重視するイメージフィックス法でどんどん漢字を覚えていきましょう。また、辞書引きを家庭学習課題としており、出てきた漢字の部首や画数を調べて例文を作ってきてもらいます。辞書をひいて調べることで語彙力も養われます。導入がおわったら、ビーゼミオリジナルの漢字まんてんプリントなどをつかってさまざまな熟語に触れ語彙力を伸ばしましょう。毎週おこなわれる確認テストで定着につなげていきます。

家庭学習課題 ・・・ 漢字のプリントの他に家庭学習用に教材を使用しています。1年生は1年に 3 冊。2 年生からは 2 冊を目安にとりくんでいます。週 1 回の授業内容をさらに定着させるために、残りの 6 日間をどういうふうに課題に取り組めばよいかが大切です。大切なのはお子様のやる気です。いやいや取り組む課題には何の意味もありません。学校との宿題と合わせて負担にならないようにお子様と相談しながら課題の量を決めていくこともあります。できる量をきちんと仕上げる。そういったきちんとした取り組みと習慣を身につけていくことが重要です。

●小学英語「we can！」　新西町校

小学英語の重要性

＊今英語教育はどうなっているの？

2020 年度より小学3年生から英語教育が必修化となり、小学 5･6 年生は英語が正式教科となり成績表に反映されるようになりました。

同じく 2020 年度大学入試改革では、センター入試が廃止され共通テストが導入されています。そのなかでも大きな目玉とされる英語の試験は、4 技能「読む」「聞く」「書く」「話す」力を総合的に評価する試験へと変化しました。

今までの知識･暗記型の学習だけでは対応できない、「対話する力」「発表する力」を育てることが求められています。このように子どもたちをとりまく、英語教育環境はめまぐるしく変化しているのが現状といえます。

＊英語の重要性　受験でも社会でも

高校になって文系にも理系にも欠かせない重要教科である英語。英語ができれば大変有利に受験に臨むことができますね。入試改革により求められる力は英語をツールとした発信力であり、それはグローバル社会における日本の国際化に対応する力ともいえます。多くの外国人が訪れる日本。ますます加速するであろうこの国際化の流れのなか、次世代の子どもたちが大きくなるころには、当たり前のように英語がとびかう社会になっているかもしれません。

＊本当に必要？低学年からの英語教育

そもそもなぜ小学校にまで英語教育が下りてきたのでしょうか？国際化･グローバル化が進む日本において英語を話すことの重要性が認識されてきました。3 年以上長い人なら 10 年以上も英語を学習してきたにもかかわらず英語を話せない日本人。この教育の在り方が改めて問われ始めたからなのです。では、なぜ低年齢からなのでしょう？時間が足りないからでしょうか？授業内容に問題があるからでしょうか？それは言語習得におけるナチュラルプログレスが関連しているのです。

＊言語習得におけるナチュラルプログレス（自然な過程）

赤ちゃんはおなかの中にいるときから耳にしている母国語を 1, 2 歳の頃には口にだしお話しできるようになります。そして成長とともに絵本の読み聞かせなどから文字に触れるようになります。耳にしている言葉と文字の一致がうまれ、そして書くことにつながってゆきます。

聞く → 話す → 読む → 書く

ネイティブの話す英語を自然に理解できるようになるには約 3000 時間のヒアリングが必要とされています。1日10時間英語を聞いたとして 300 日。1年外国にいると耳が慣れるとよく言われるのもうなずけますね。

＊子どものうちにやれること。子どものうちだからこそできること。

幼児期の子どもたちは抜群に耳が良いのです。聞いた音をそのまま口から発話することができます。そして繰り返し学習が効くのも8歳児くらいまでです。

この時期にたくさんの英語に触れインプットすることは理にかなった効率の良い方法です。ですから「聞く」「話す」ことに関しては低年齢の子どもたちこそ適齢期といえるでしょう。

＊英会話と学校英語のギャップ

「英会話を何年もしてきたのに、中学校のテストでは点が取れません。」というお話はよく耳にします。それは中学校で学習する文法はナチュラルプログレスの先にある学習だからです。日本語の喋れる日本人すべてが国語のテストで良い点がとれるでしょうか？会話と文法が同じではないことをしっかり認識しなければいけません。文法で点数をとるためには、学習方法そのものが根本的に異なることを理解しましょう。そこさえしっかり押さえれば、もともと英語が好きな人ならあっという間に得点アップです。点数が取れない人は、英語の勉強方法がわかっていないケースが大半です。

＊ビーゼミナールの小学英語は･･･小学 6 年間を通じて各学年に育てたい力に特化したカリキュラムで、お子様のコミュニケーション能力を育て、英語の 4 技能を鍛えます。1 グループ 6 人までの少人数グループ学習スタイル！お休みの場合も安心の補習対応です（月一回の指定の補習日にてご対応しています）

【1年生～3年生】

たくさんの英語に触れましょう！歌やチャンツ、お話、ゲーム中心の授業です。異文化に触れながら英語に対する興味関心を育てましょう。

『英語の楽しさの発見！英語で発表することで自己表現できる喜びを知る。』がテーマです。

耳の良い時期にたくさん英語に触れ口に出すことで英語耳を育てましょう。そして毎回の楽しいグループ授業の中には必ず発表する時間があります。英語学習を通じて自分の伝えたいことをみんなに聞いてもらう、そして互いに認め合うことでコミュニケーションの土台となる力と姿勢が養われていくのです。社会に出る際に、最も身につけていきたい力を、英語学習を通じて獲得していくことができます。

【4年生～6年生】

リズムよく音読しよう。英語をスラスラ読めるようになろう。そしてたくさん英語を書こう！『中学英語につながるスムーズな読み書きの導入』がテーマです。ビーゼミナールの小学英語の目標は中学校に行っても点数の取れる生徒の育成です。テストで点数をとるために必要な慎重に文章を仕上げる姿勢、見直す癖、丁寧に書く気遣い、わからないときは自分で調べるといった学習姿勢を定着させ 4 技能それぞれバランスよく育てていくカリキュラムです。

＊フォニックス学習のすごさ

ビーゼミナールの小学英語の基礎にあるのはフォニックス学習です。アルファベットの読み方を覚えて、約 70 個あるルールをマスターすれば知らない単語だってスラスラ読めるようになります。他国の英語教育現場では必ず最初に習うはずのフォニックスですが、日本の中学校では時間の関係でほとんど時間を取れていないのが現状です。英語をスラスラ読めることで、単語を書いたり暗記したりする作業がスムーズにおこなわれます。

＊4 技能の力をつけて、羽ばたけ未来の国際人！

子どもたちはこれから長い時間英語に関わっていきます。そしてその内容は保護者の方たちの学習したものと大きく変わろうとしています。子どもたちの英語における「聞く」「話す」「読む」「書く」の 4 つの力を伸ばしていかなければなりません。ビーゼミナールの小学英語は、それぞれの成長段階に合わせた内容となっており 4 つの技能をバランスよく効率的に学習することができます。

英語をツールとして使いこなし、相手の意見を理解して自分の思いを伝えそして議論する、そんなことが当たり前のような社会はもう目の前まできています。自分たちの世界観をどんどん広げて国際社会にどんどん羽ばたいて欲しいと心より願っています。

＊ビーゼミナール　英語教育のステップ

◆小1,小2　ゲームや歌、工作など楽しいレッスンをしながら英語をどんどんアウトプットしましょう。フォニックスルールの基礎を習得します。子どもたちは英語の授業が大好きです！そこには「学ぶ＝楽しい」があふれています。

◆ 小3,小4　フォニックスルールをさらに学習することにより、知らない単語もどんどん読めるようになります。3 文字単語なら音からスペルを発見することだってできちゃいます。ローマ字ヘボン式をマスターし、辞書引きなどを通じてわからないときは自力で調べる学習姿勢を養います。

小5,小6　会話と文法学習をおり交ぜながら、「書く」練習を積極的に取り入れています。簡単な自己紹介ならすらすらといえ、自己発信力をつけていきます。文法学習もスタートし中学校の教科書をつかった学習をとりいれ勉強効率の良いノートのとり方や予習の仕方も学びます。

◆ ビーゼミナール生は、グループ会社のミネル英会話のサマースクールなどの季節イベントに、特別価格でご参加いただけます。外国人講師とふれあってコミュニケーションすることで、経験値をどんどんあげていきましょう。
また英検受験される方は、英検対策コースも設けているのでしっかりとした対策をとることができます。

●ビーキッズぷらす　新西町校

【用途に応じて選べる2つのコース】

塾に通う生徒の皆さんの目的や要望が多様化している今日において、幅広くいろいろな種類の授業を行うことのできる自由設計の個別授業となります。用途に応じて以下の2つのコースからお選びいただけます。

①基礎学習ステップ

講師1名に対して最大生徒2名で行う個別授業となります。対象は1年生から6年生となります。対応科目は国語・算数・理科・社会・英語となります。基礎学習ステップでは以下のような生徒様に受講をお勧めいたします。

・学習習慣を身につけさせたい。
・今学校で行っている単元の復習・予習がしたい。
・前学年の苦手な単元の学び直しがしたい。
・理科や社会の受験対策を行いたい。
・鳥大附属中や青翔開智中の受験対策を行いたい。

②発展学習ジャンプ

講師1名に対して生徒1名の完全個別授業となります。対象は4年生から6年生となります。対応科目はステップと一緒となります。発展学習ジャンプでは以下のような生徒様に受講をお勧めいたします。

・県外の有名中学校を受験する予定だ。
・学校準拠ではなく応用問題を解いていきたい。自学年よりも進んだ勉強がしたい。
・将来の進路目標が明確で、ハイレベルな指導を受けたい。

受講をご希望の方へは面談、またはテストをおこないます。レベルによっては、他コース（ステップ・個別指導ビーマイセルフ）をご案内させていただくことがございます。

★授業の流れについて

① ②共に授業の進め方や教材に決まった形はありません。すべてご相談の上、学習カリキュラムを決めてまいり

ます。ただし、答えを教えるだけの授業は行いません。昨今では自分自身の考えや、その結論に至る過程を自身で説明できる力が必要となってきます。思考力や発信力がより求められる世の中でしっかり力が発揮できる大人へと成長していただくため答えへの過程しっかり考えていただく授業を行います。その中でご要望に沿ったプランと教材をご提案させていただきます。具体的な教科や受講曜日・受講コマ数などすべてご相談いただけます。

適宜、季別の面談などでプランの更新や変更を行うことで、その時に必要な力を伸ばすことのできる最適なカリキュラムをご提供いたします。ご家庭と連携を強めてご希望いただく形に近づけていきます。

●ことばの学校　新西町校

国語のプロが厳選した 350 の良書を、読み、味わい、最良の方法で国語力を育てる

古今東西の名著が揃いました！

無数にある本の中から、国語のプロが「その学年でぜひ読んでおきたい」と思うものを厳選。古今問わず名作と定評のある文学作品、絵本、論説文、古文と多岐にわたって 350 冊のタイトルを用意しています。これら良書を年間 40〜50 冊のペースで**どんどん読んでいくこと**そのものが読書力を高めることにつながります。

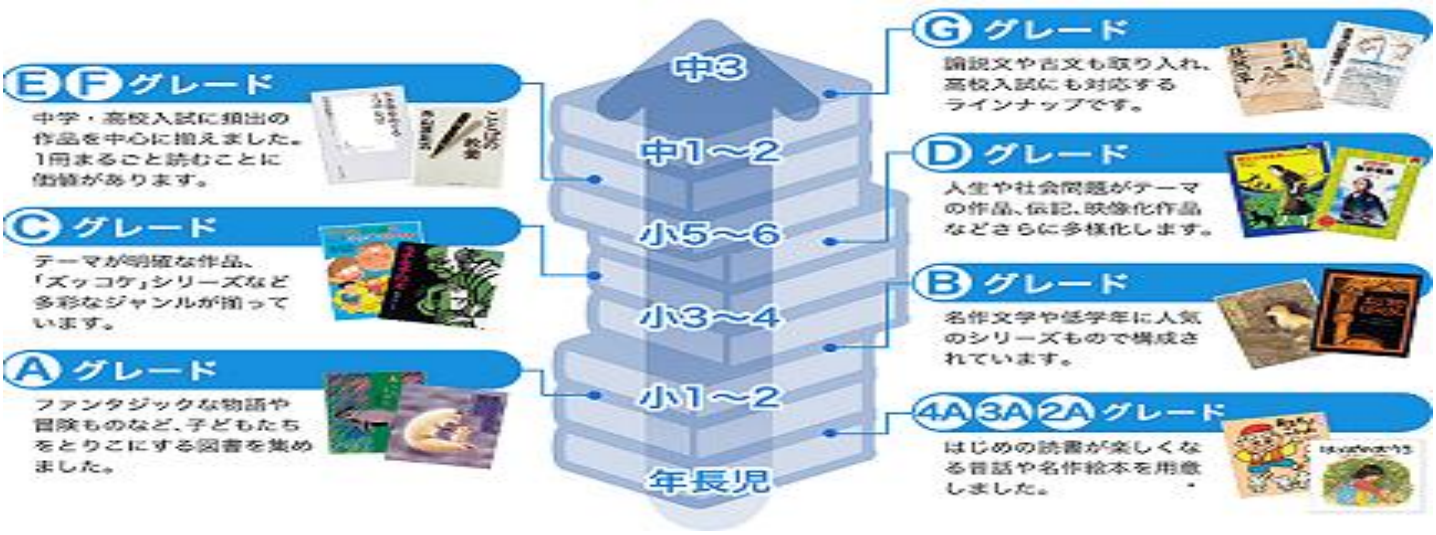
朗読音声で読書がラクラク！

子どもたちの黙読をサポートするため、すべての図書に**プロのナレーターによる朗読音声**を用意しています。再生スピードは調整可能。自分にちょうどよい速さで聴きながら活字を追うことで、一文字ずつばらばらに読むのではなく、**文字を「かたまり」でとらえる**ことが可能になります。これによって、誰もが読書の楽しみを実感できるのです。

読書ワークで読書効果を最大限に！

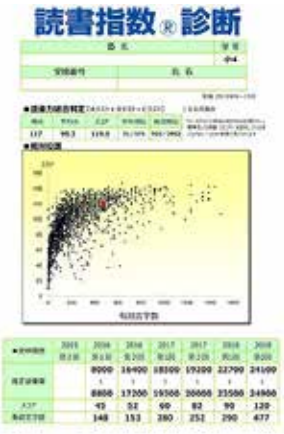
「読書ワーク」とは、読書の前後で取り組む学習教材です。ことばの意味を**文中の生きた表現**で確認するシートを中心に、ことばの意味を「考える」「理解する」「想像する」力を育み、文章全体を「イメージする力」につなげていきます。これにより読書体験を確かな学力に変えていきます。

読書レベルに合わせた最適なグレードから本を選べます！



読書成果を「見える化」！

「読書が楽しくなった」「速く読めるようになった」「ことばがたくさんわかるようになった」など、喜びの声を多数いただきます。しかしその実感を数値でも確かめたい。そんな思いから、ことばの学校では**オリジナルの到達診断である読書指数診断®を実施しています。**「ことばの力」や「読み取る力」の伸び具合を半年に 1 回のテストで確かめていきましょう。



小学部・集団授業

新西町校

【中学受験コース】受験を通じて今後の学習に必要な態度と知識・技能を養う

中学受験コース（新西町校）：小学4年生, 5年生, 6年生

「中学受験を目指しているお子様」だけでなく、「受験はしないけど、学校より難しい問題に挑戦したい」と思われている生徒さん向けの集団クラスです。

通常学校で行われる授業の速度よりも単元進行は早くなります。入試時期となる6年時の1月には、小学生の単元が完了し演習問題をこなすことを進度目標とします。

そして、目安としまして全国模試で**鳥大附属中学校合格に不可欠な偏差値60以上**をクリアすることをめざします。

また、習ったことの定着や家庭学習の習慣づけの一貫として、宿題の管理をしっかり行います。

小学4年生は週1回2コマ、算数と国語、小学5・6年生は週2回4コマ、算数と国語を学習します。

小学6年生は理科と社会をセットの週3回6コマの受講もできます。

中学受験合格者の多くの子どもたちに共通しているのは, 次のような特性です。

1. 親や先生の話にしっかりと耳を傾けることができる
2. 時間の許す限りねばり強く考え抜くことができる
3. 自分の興味・関心があることをとことん追究できる
4. 何のために中学受験をするのか自分なりの意見を言うことができる

1. は**「何が問われているのか」「何が要点なのか」**を素早く, 正確にとらえるために必要な態度です。

2. はいろいろな視点から問題を見つめ, さまざまな解法を試みようとする力を**目に見えない形で養っている**と考えられます。

また3. や4. は,「何のために勉強するのか」といった**自分の目標**や「なぜそうなるのか知りたい」という**知的好奇心**をすでに持っており, それらが**受験勉強の原動力**となることを意味しています。

中学受験コースでは, 保護者様に**ご家庭でのご協力**をたまわりながら, お子様が**学習する上での基本的な態度を身につけていくことができるようサポート**をしてまいります。「学習への構え」なくして, 受験のための知識や技能をいくら教え込んでも, それらを自分の学力や知性に組み込むことはできないと考えるからです。知識や技能の習得に関しましても, 次の点に留意して指導にあたります。

1.「教え込まない」「教え過ぎない」

もちろん, 導入授業では, 公式の意味や基本的な解法などは教え説明をします。また, 最初は, どのような疑問にも丁寧にお答えします。授業に慣れてもらうにしたがい, 徐々に, まちがえた問題やわからない問題をすぐにその場で教えるのではなく, **もう一度自分の力で考え直してみる指導**へと移行させていきます。なぜなら,「わからない」とすぐに言ってしまう子どもたちには, **問題文を丹念に読んでいない**, あるいは**問題そのものを十分に吟味していない**とい

う傾向が見られるからです。**お子様が考えつくしたうえで助言を求められるまで見守る指導**によって，自力で問題を解き切ったことから生まれる達成感や，知覚や吸収力の研ぎ澄まされた心的状態を創り出すことをめざします。こうした知的体験の積み重ねこそ，お子様の能動的な学習につながるものだと考えています。

2. 思考過程を「書き出す」「書き残す」

日ごろ教場で実感するのは，簡単な問題であれば，頭だけで考えてすぐさま答えを出すけれども，むずかしい問題となると，ただ問題を眺めて「うーん」とうなっているばかりで手をこまねいているというパターンに陥っている子どもたちが多いということです。しかし，むずかしい問題を考えるときは，手を動かして考えることがとても大切です。**問題文の大事な部分に線を引いたり，図を描いて補助線を書き入れてみたり変形してみたりする**ことで，解くためのヒントを発見できるからです。中学受験コースでは，①図表は自分が問題を解くときの「思考の道具」であるという意識，②ヒントを得るための具体的な図表の作成法，③図形やグラフ，途中式は，解答に直接関係なくとも，書き出すという習慣の定着を徹底します。

3. 考え抜いた題材からさらに新たな「知的興味」を引き起こす

授業とは，単に概念を教えることや，正解を示すことだけではなく，この問題はどんな文脈で生じたもので，どんな意味をもっているのかともっと掘り下げたり，他の問題とどのようにかかわるのかと外へ広げたりして，**先生と生徒がいっしょになって真剣に考えてみる**ことではないでしょうか。

問題それ自体ではなく，その周辺にあることや根っこにあることが，逆に問題の認識を深めたり，他の問題への興味を広げたりすることがあります。中学受験コースでは，こうした生徒との対話から生まれる**「気づき」**を大事にした授業を心がけてまいります。

●中学部 ・集団授業　新西町校

志望校合格のための徹底指導

高校入試で志望校に合格するためには，中学3年生になってから毎月のように実施される校内模試や実力テスト（5教科250点満点）で受験可能とされる基準点をクリアしておかなければなりません。

入試となれば、直前に詰め込めば点数が取れる中学校の定期テストとはちがう「鍛え」が必要です。定期テストの勉強の仕方が抜けきらないまま受験勉強に取り組んでも，点数や順位が伸び悩む傾向が往々にして見受けられます。

進学塾 Bee ゼミナールでは，中学1・2年生の段階から，**教科書内容や学校進度にとらわれない先取り学習**で「志望校合格のための学力」さらに「高校入学後も活きる学力」を身につけるための指導を行います。

●総合進学コース（中 1～3 年生）　新西町校

塾生どうしがたがいに切磋琢磨し合える少人数一斉指導

進学塾 Bee ゼミナールは、やる気と粘り強さをもった子どもが学力を伸長させるのに最適な指導こそ「集団授業」にあると考えます。子どもたちが互いに刺激しあいながら実力を高め合い、また一人ひとりの学習課題に対応していくためにクラスは少人数制といたします。塾での学習は、基本的には学校の授業の予習になりますが、特に演習量の確保が必要な単元では、学校の授業時数より多くの時間を取って練習することがあります。各単元では、基本的な知識・技能の獲得を重視し、教科書レベルの内容の理解の定着を図るようパターン演習に時間をかけることによって、定期テストで 400 点以上をクリアするための勉強のやり方を身につけます。

また教科書レベルの内容でとりこぼしをしない学習能力（集中力や注意力、問題全体を俯瞰する力など）を高め、入試問題レベルの発展的内容に取り組む中で、鳥取西高や鳥取東高など県内上位の高校へ進学するための知識の習得及び思考力の養成を図ります。

【指導教科】英語・数学・国語

【授業の特徴】 英語・数学は 140 分/日、国語は 70 分/日の授業です

・学習したことは、小テストや単元テストで理解度チェックをします。間違えた問題は自力で解き直し苦手や弱点を克服していきます。授業内での理解と定着を目指しますが、不十分な時は補習等を行うことがあります。

中学 3 年生では、入塾時または進学時のテストで選抜された方のみの「数学特進クラス」を編成し、鳥取西高・鳥取東高トップクラスから国立大現役合格を見据えた学習に取り組み、中学 3 年生のカリキュラムを 11 月までに完成させます。

また、中学生のうちに押さえるべき知識とその背景にふれ、徹底した基礎力を身につけます。演習では大学入試を見据え、考えることに重点をおき独力で解答に辿り着ける力を身につけます。解答は根拠を持って自力で書き、その正誤を吟味し、曖昧な理解を許さない授業を行います。

【受講生の声】

・周りの人の問題を解くスピードが速くて最初は焦ったが、負けたくないと思い、自然と学習量が増えた。
・3 年生の内容が早く終わるので、入試問題への取り組む時間が多くなるので、自信をもって入試に挑める。
・難しい問題もたくさんあり大変だが、自分で解けたときの達成感がすごい。
・問題を解く時間配分を気にするようになった。
・苦手な科目にも進んで学習できるようになった

タブレットを使用した個々のペースに応じた集団型個別授業

【指導教科】理科・社会

個々それぞれが、自分のペースで学習を行います。タブレットを使用し、重要ポイントや解答解説を見て聞いて理解を深めていきます。問題を読み解く視点、解法の流れなど各単元の重要事項を理解していきます。基本から応用まで、入試に必要な関連知識なども身につけます。映像授業ですので、一度で理解できなかったところは何度でも見直すことができます。また苦手分野においては、問題をただ解き直すだけでなく、前学年に戻って何回でも解説を聞いて理解し直すことも可能です。

【授業の流れ】

①授業前に生徒に 1 台タブレットをご用意します。
②進捗チェックシートを確認し授業開始となります。
③映像授業で精鋭講師の要点解説を視聴します。
（※わからない時は繰り返し見直すことが可能です。）
④講師による理解度チェックで質問に答えられない時は、再度映像を見直します。
⑤練習問題をした後に、解答・解説を聞いて間違いを正し、理解を深めます。
⑥単元終了後には、小テストで理解度の確認をします。

【受講生の声】

・映像授業は、自分のペースでどんどん進めて学校の復習ができる。
・途中で止めるたり、何度も繰り返し見ることができるので、自分の理解するスピードに合わせることができる。
・他の音が聞こえないので、ものすごく集中できる。

補習で弱点と苦手を補強、定期テスト対策勉強会で万全の準備を

確認テストや単元テストの結果や授業内での理解が不十分（わからない、できていない）であるとき、別日設定する補習日に見直しを行うことがあります。再テストや類似問題に取り組み、弱点を補強し、苦手をなくすように努めます。わからないまま放っておかないことが大切です。

また、定期テスト対策勉強会を設けますので、テストへ向けて課題を明確に持って臨みましょう。勉強会は 5 教科対応します。わからないところは講師にどんどん質問して万全の状態でテストに向かいましょう。

【学習の心得】

①「これはわかった」「これを覚えた」ということが必ずあるように、授業に積極的に臨む姿勢を持ちましょう。帰宅したら頭に何も残っていなかったというようなことでは、授業を受けても効果はありません。
②授業を大切にしないことには成績が伸びるはずがありません。講師の話をしっかり聞く、集中して問題を解くなど心がけましょう。
③授業で学んだ知識や技能をしっかりと身につけるために必ず宿題をしましょう。反復練習をすることで記憶は定着されます。繰り返しを厭わないことが大切です。
④小テストや単元テストは自身の理解度を図るものになります。授業の受け方が点数に反映しやすいテストです。しっかり点を取ることはもちろんですが、テストの結果をもとに苦手や弱点に気づき、なくす努力をしましょう。
⑤塾の宿題も学校の宿題もバランスよくできるようになると力は自然とついていきます。また、「自分なりの勉強」課題や時間を作ることを心がけましょう。そうすることで、定期テストなどでも掲げた目標に到達できると考えます。

●高校部・集団授業　新西町校

鳥取と東京・大阪などの都市部との決定的な違いを『高校生』というフレームで考えたときに、真っ先に浮かぶことは何でしょうか。ずばりそれは『受験意識』の差です。

都市部では生徒たちが高校受験の段階で公立難関校のみならず、高い競争率を誇る私学難関校が競合する中で受験を経験します。それに比べ、鳥取の場合は公立入試の競争率も高くなく、加えて私立高校の数も少ないという事情もあって、生徒たちは比較的のんびりと入試を受け、合格した時点で安心してしまう傾向にあります。

しかし、3 年後に控えている大学受験は全国のライバルとしのぎを削る厳しい闘いです。「これ以上勉強出来ない」という限界に挑むくらいの意気込みでちょうどいいくらいの高い意識レベルが求められるのです。

高校部ではその厳しさを高校入学の早い段階で生徒に認識させ、具体的な目標に向かって順調なスタートを切ってもらうことを目標にしています。常に新しく、正確な受験情報を伝え、授業以外の場面でも生徒の受験相談に親身に向き合うことを目指しています。

よりこまめに、そして丁寧に！それがビーゼミナール講師陣に共通する指導目標です。生徒が望む進路を叶えられる教室、そして講師でありたい。それがわたしたちの願いです。

☆高校部指導の 3 本柱

1. 難関に挑む生徒への全力応援、指導

個々の志望や学習レベルに寄り添い、対話を重視した指導を心がけます。
生徒が無理なく自身の学習計画を進め、伸びていく手ごたえを実感できるための指導を徹底し、適切な助言、励ましを受験終了まで続けていきます。
細かく正確な知識が求められる難関私立大学対策はもちろんのこと、難関国公立大学二次試験で求められる深い思考力、高いレベルの答案作成力を高める指導を徹底します。
また、授業以外でもいつでも自由に勉強に打ち込める自習室を完備し、安心して勉強に取り組める環境が整っています。

2. ひとりひとりを大切に

各生徒のレベルにしっかりと対応した形で、基礎学力の定着から難関大学受験対応の指導まで幅広く行い、積極的に個人面談の場を設け、その状況に即した受験アドバイスを行います。
そのためのデータ資料に加え、個々の生徒の求めに応じた教材の提供も継続して行っています。

3. 大学入試に向けた、深い理解と考えることに重きを置く授業展開

大学入試改革により教科書改訂が行われ、大学入試制度や受験生に求められる学力・出題傾向が変わりました。
共通テストへと変わり、膨大な文章量を捌き、必要な条件を見抜き、考えなければ解けない問題が出題されます。
ビーゼミナールでは大学入試改革について常に最新の情報を入手し、生徒ひとりひとりが新しいテストに対応できる本物の思考力、答案作成能力を磨いていきます。

個人の受験プランに合わせた多彩なカリキュラムで一人ひとりを伸ばしていきます。

●集団授業　新西町校

生徒の皆さんにとって、劇的に変わる点。それは受験というステージでのライバルの数、そしてレベルです。高校受験までは他県と比べ、少ない学級数、生徒数の中での戦いでした。しかし、大学入試は全国区。鳥取県と比べて圧倒的に学級数、生徒数の多い中で真剣勝負を行っているライバルと肩を並べての戦いになります。ビーゼミナールの集団授業では学びの中でそうした現実をしっかりと認識させることに力を注いでいます。

単に学校の定期試験や学校内での席次に満足するだけでなく、広く全国に目を向け、大学受験への具体的な取り組みを考えさせます。クラス授業の中でも最新の受験事情を伝え、積極的にひとりひとりの生徒と対話しながら、本人の夢、進路に沿った学びのラインを一緒になって描いていきます。より高い目標、そして難関にひるまず、挑戦できる生徒を育てることに全力を注ぐこと、それがビーゼミナール高校部の目標です。

●授業の特徴　新西町校

丁寧な解説と考え方の背景に触れ、「解ける・できる」という実感を持てる授業を行います。考えることに重きを置き、初見の問題にも動じない力を養います。前回の授業の小テストを授業前に行い、実際に習ったことが使えるかどうかを確認しています。高 3 生には一人一人の多彩なニーズに応えるために必要な受験科目に応じて自分が取るべき受講科目をオーダーメイドで選べるスタイルになっています。数学、英語では共通テストの対策クラス、文系2次試験対策クラス、理系2次試験対策クラスなど、クラスを細分化し、自由に、必要なだけ自分で選び学習ができます。豊富な授業時間数をご用意し、みなさんの進路実現をサポートしています。

●講師からのメッセージ　新西町校

【数学】

知識だけでは限界があり、**「考える」ということをしなければ数学は絶対にできるようになりません。**わからない問題に出会ったとき、じっくりとよく考えて「わかる」問題にしていくことが大切です。

逆に**知識がなければそもそも問題を解く土台にすら立たせてもらえません。**更に問題のレベルが高すぎる場合は、考えてもただただ時間が無駄になってしまうことがあり、この場合は素直にわからないことを認め、解法の発想を吸収することも重要となります。授業の中では自分では気づかない解答もたくさん出てくると思います。素直な気持ちで問題に向かいましょう。

基礎基本を大切にして定義をもとに考えること、問題に対しての視点の置き方をどうするかを知ること、公式の背景に触れ他単元との繋がりを知ること、を大事にしてください。数学は1つの問題に対し様々はアプローチがあり、それらの理解が他の問題の解法とも繋がっていくところに楽しさがあります。授業の中でその数学の楽しさを感じてもらえることを期待しています。

【英語】

英語は受験対策にとても時間がかかる科目です。例えば長文の問題で内容について深く考え、正答を導きだそうとするとき、まず一つ一つの英文の意味がわからなければなりません。そのために毎日 10 分、20 分でも英語に触れる必要があり、その習慣が身につくまでにかなり苦労する人も多いのです。日々の授業をきっかけにして毎日の英語学習を習慣づけてもらうと、英文の意味は自然にとれるようになります。

入試問題には細かな語法、イディオム、難解な英作文が出題されることも当然ありますが、一部大学を除き、内容理解がきちんとできていれば合格点はかなりの確率で取れます。また限られた期間で合格点を取るためには、学習の手順も大事です。「どの時期にどんな教材を使って、何ができればよいか」をお伝えして方向性がブレないようにしながら、重要な例文や構文を、文法、英文解釈、英作文などの複数の領域で違う角度から繰り返し扱うことで定着度を高め、大学入試対策に特化した授業を行っていきます。

ハイレベル講師陣による徹底指導

ビーゼミナールで指導を行うのは、ハイレベルなプロ講師陣。ひとりひとりが教育に対する確固たる信念をもち、生徒を伸ばしてあげたいという熱い思いを持っています。労力を惜しまず、議論を積み重ねながら、生徒を伸ばすための方法を考え抜いています。熱い思いと確かな実力であなたを志望校合格に導きます。

●個別指導ビーマイセルフ

新西町校・田島校・鳥取中央校

『個別指導 Bee マイセルフ』の目指すところ

あなたと作る自分に合った個別指導・生徒と講師が作り出すオンリーワンの授業

『個別指導 Bee マイセルフ』は、1対3の少人数クラスでの個別指導です。個別の利点を生かし、常に対話し、習熟度を確認しながら授業を進めていく、いわば生徒と講師が作り出すオンリーワンの授業です。クラス担当制をしいていますから、生徒の理解度・弱点など講師が十分に把握した上で毎回の授業が行われますので安心して通塾いただけます。「対話をしながらのじっくり授業が好き」「学校の進度に合わせて進めたい」という人に最適な授業です。 しかしながら、目指すところはやはり学力の向上です。これまで申し上げたことは、そのための必要な手段であって、講師と生徒が同じベクトルを向いて学習に取り組まなければなりません。中学生には高校受験、高校生には大学受験あるいは就職試験になろうかと思いますが、大きな目標を見据え、日々の小さな目標を一つ一つクリアしていくことの積み重ねを講師とともに実現していけたらと考えます。 個別指導の授業では、わからないことは授業の中で解決します。ただし、教えてもらうだけでは本当の力はつきません。習ったことは必ず復習すること、繰り返し演習をして自分の中に刷り込んでいくこと、この労を惜しまないことが力をつけるために重要な課題です。Bee マイセルフでは、「成績が上がる」「成果が実感できる」学習の環境と機会を皆様にご提供していきたいと考えております。

Bee マイセルフの取り組み

①自信をつける　⇒　つまずき始めたところを発見し、前の学年まで戻って学習を始めます。
②わかるまで繰り返す　⇒　年6回の定期勉強会を開催し反復の大切さをわかってもらいます。
③もし休んでも安心　⇒　振替制度が充実しているので部活の大会や急な予定などに対応できます。
④学習状況がよくわかる　⇒　定期的に学習状況をご報告し保護者の方と協力しながら学力を上げていきます。
⑤意欲向上を目指して　⇒　学力診断模試や英検・数検など各種検定を受験できます。

コース内容

(1)対象学年

小学生・中学生・高校生

※教室によっては、対象が限定されることもあります。

(2)授業形式

①少人数個別指導 … 1対3(1クラスあたり、先生1人に生徒は3人まで)

※必ずしも同学年で揃えるわけではありませんので、予めご了承ください。

②完全個別指導 … 1対1(先生1人に生徒は1人)

(3)年間授業回数

全曜日42回(※通常授業回数)

★授業の振替

4月を除く年11回、毎月1回振替日を設けます。欠席された場合、翌月の振替日に振替授業を行います。これによって、生徒の年間授業回数ができる限り確保されることを目指します。

尚、振替日のご都合が悪いことが事前にわかっていれば、翌々月に振替えできます。

※授業日は『年間授業カレンダー』にてご確認ください。

(4)指導時間及び授業時間帯

①指導時間

小学生 …100 分(2 コマ)からの受講を推奨しております。2 教科まで受講可能です。

中高生 …120 分(2 コマ)からの受講を推奨しております。2 教科まで受講可能です。

※1対1個別指導は、小中高生とも 60 分～ です。

②授業時間帯(標準)

小学生 … 17:05～17:55　18:00～18:50

中高生 … 19:10～20:10　20:15～21:15

※教室, 曜日によっては時間割の追加をすることがございます。

通塾曜日・時間帯はご希望をお伺いの上、決定いたします。

(5)指導教科　※教室によって実施教科の限定があります。

小学生 … 算数・国語・英語　※英語は小5・小6のみ

中学生 … 英語・数学・理科・社会・(国語)　※教室によっては理科・社会など受講できないものもあります。

高校生 … 英語・数学

(6)定期勉強会

通常授業は、学校の進度を基準に個々の理解度に合わせて進めます。しかしながら、大切なのは復習をすることです。個々が自分の弱点・課題に気づき、取り組み、克服することで本当の「わかった」になります。Bee マイセルフでは、この復習の機会を設けるべく授業の一環として定期勉強会を今年度は中高生は講習会実施月を除く年6回開催いたします。これにより通常授業と合わせて、年間の通塾回数が増え、より学習の機会を持っていただけると考えます。

例)中学生週1回通塾の方… 通常授業42回＋勉強会6回＝通塾回数48回

※開催月は、5月・6月・9月・10月・11月・2月を予定しています。各教室の実施日につきましては開催月の前月にご案内いたします。※通塾教室での出席が日程上不都合な場合、他教室にお越しいただけます。

(7)特別講座

①夏期・冬期・春期講習会

学校の長期休暇中には、通常授業から講習会に切り替わり、講習会も含めた内容で1年間の学習カリキュラムが成り立っています。講習会期間中は、通常授業では受けていない教科も勉強していただけます。年間学習計画の一環として、復習・演習量を増やす大事な機会ですので、塾生は皆受講して学習に励んでください。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
春講	通常授業			夏講	通常授業				冬講	通常授業		春講

②入試対策講座(9月開講予定)

高校入試を控えた中学3年生対象の『高校入試対策コース』を開講いたします。

自分に足らないものは何なのか。受験に向けてどう取り組んでいけばいいのか。個別指導ビーマイセルフでは、苦手単元の復習から入試頻出パターン問題の確認まで個々に合わせたカリキュラムが組めます。何よりも演習量をしっかりこなしていくことで、確かな自信につながるはずです。

(8)習熟度チェック

生徒一人ひとりの学習状況を把握するため、担当講師は「学習の記録」をとり定期的に保護者様にご報告します。どの教科がどこまで進んでいるのか、どの単元が苦手なのかきっちり把握をし、課題に取り組み、弱点克服を目指していき、保護者様にもその過程をお伝えしてまいります。

(9)個別面談

個別面談を行います。お子様の学習状況(理解度・姿勢・課題など)をお伝えするだけでなく進路指導や今後の取り組みについてご相談し、保護者様からのご意見・ご要望をおうかがいしたいと考えています。

≪定期勉強会の様子≫

●自考力キッズ　新西町校

楽しみながら論理的に考える力が確実に身につく

パズル・ロボット・プログラミングと３つの内容を毎月実施していくカリキュラムとなります。このコースを通して自分で問題を発見し、調べ、考え、表現する力を養うことができます。また、作業の過程で試行錯誤を繰り返すことで論理的思考と応用力が身につきます。

自考力キッズとは

楽しく学びながら「自分で考える力」を３つのカリキュラムで育みます。

AnTeC® 自考力キッズ
じこうりょくきっず

成功体験の積み重ねで
自分で考える力が
身に付きます

勉強（特に算数）が苦手な子は、難しい問題は見ただけですぐにあきらめてしまいがちです。

失敗してもいい
手を動かして何度も考える力
試行錯誤力

「試行錯誤力」をつけるには図を描いたり、表を作ったり、計算してみたりととりあえず手を動かして試してみることが非常に大切です。考えるときに手を動かして試してみる習慣は、困難に直面したときにもあきらめずに前進する力を養います。

算数に必要な図形力

算数には「計算力」と同じく「図形力」も必須です。特に空間認識能力は、小学3年生までの体験が重要と言われています。パズルで平面から立体までの様々な図形問題へチャレンジしたり、様々な形のロボットを組み立てることで図形力を育みます。

最後まであきらめない
集中力・やり遂げる力

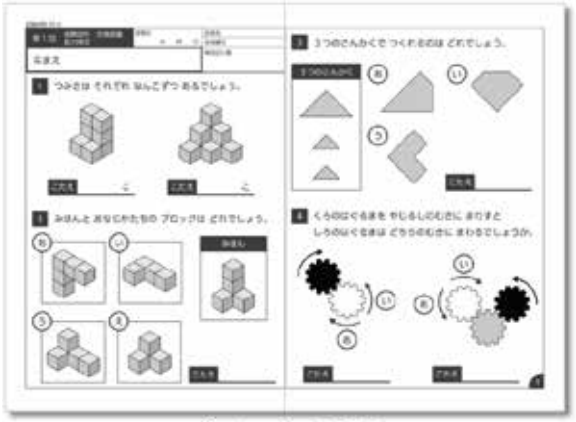
解けそうでなかなか解けない問題に子どもたちは「絶対に自分の力でやり抜きたい！」と、集中して取り組みます。「考え抜いてできた！」という成功体験を繰り返すことで、"問題を解く楽しさ、考える楽しさ"を知り、最後までやり遂げる力が身に付きます。

パズル

ブロックを使ったパズル問題で「できた！」をたくさん経験

ブロックやギヤ(歯車)を使って 12 種類の図形パズルやゲームに挑戦。ブロックを使って取り組むことで、図形や立体を

イメージする力をトレーニング！**「図形・空間認識力」・「集中力」**が身につきます。



プリント問題

ロボット

手の器用さはもちろん、創造力や発想力を鍛える

モーターやギヤを使って 24 種類の仕組みを利用したロボットを作成。いろいろなブロックを組み合わせて、オリジナルのロボットも作成しよう！**「創造力」・「表現力」**が身につきます。

テキスト

プログラミング

パソコンを使って 13 種類のロボットをプログラミング。初めてパソコンを触るお子様にもわかりやすいソフトを使用しているので安心！**「論理的思考力」・「問題解決力」**が身につきます。

テキスト

●エジソンアカデミー　新西町校

プログラミングとは

装置やパソコンに動いてもらうための命令をプログラムと言います。その命令を作っていく作業がプログラミングです。
多くの方にとって、プログラミングという作業は「自分には遠い存在」というイメージではないでしょうか。しかし決してそんなことはありません。普段の生活で当たり前のように使っている機器のほとんどが、プログラミングによって動いているのです。

楽しみながら論理的に考える力が確実に身につく

大学入試共通テストでは、国語・数学・英語のような基礎的な科目として、プログラミングなどの情報科目の導入も検討されています。プログラミングを通して自分で問題を発見し、調べ、考え、表現する力を養うことができます。作業の過程で試行錯誤を繰り返すことで論理的思考と応用力が身につきます。

プログラミングの可能性は無限大！

＊基礎的な知識を学習

テキストでセンサーの仕組みやロボットの機構などを学習し、ロボットプログラミングに関する知識をしっかりと吸収していきます。

＊プログラミングは自分だけの答えを見つけられる　創造力

プログラミングの答えはひとつではありません。固定観念にとらわれず、一人ひとりの独自の発想で新しいロボットやプログラムを作製していきます。

＊自分の考えを伝える　プレゼンテーション力

成長して大人になったとき、自分の考えを表現する力はとても大事な能力となります。製作したロボットやプログラムを通じて、プレゼンテーション力も育んでいきます。

＊トライ＆エラーを繰り返すことで身につく　論理的思考力

プログラムを論理的に書かないと、ロボットを思い通りに動かすことはできません。試行錯誤を繰り返しながら、論理的な思考力を身につけていきます。

授業時間数と授業料（2026 年度）

◆入塾金　　**5,500 円**　　※ご兄弟が塾に在籍している場合にはお二人目から**全額免除**いたします。

◆年間諸経費　13,200 円

（冷暖房費などの教室維持管理費、備品代等）※9月以降入塾の場合は 6,600 円

◆全国模擬試験代　年間受験料を最初にお預かりします。

（1 回あたり受験料：小 4 以下 2,200 円、小 5 以上 2,420 円）

小1　　4,400 円（年 2 回実施）
小2～小4　　6,600 円（年 3 回実施）
小5～小6　　9,680 円（年 4 回実施）
中 1～中2　　7,260 円（年 3 回実施）
中3　　9,680 円（年 4 回実施）

（注）全国模試のみ受験される場合、1 回あたりの受験料：小4以下 2,860 円、小 5 以上 3,520 円になります）

◆授業料（年少～小6）

コース	学　年	コマ数/週	教 科	年間教材費	授業料
ピグマリオン	年少・年中・年長	1	英才能力開発	13,200 円＋別途教具代	17,600 円
実感算数	小1～6	1	算	7,260 円＋別途教具代	14,300 円
こくごの達人		1	国	6,050 円	9,900 円
小学英語 we can		1	英	9,680 円	7,700 円
ﾋﾞｰｷｯｽﾞ ぷらすｽﾃｯﾌﾟ	小1～6	1	国算理社英	5,500 円～/1 教科	9,900 円
ﾋﾞｰｷｯｽﾞ ぷらすｼﾞｬﾝﾌﾟ	小4～6	1	国算理社英	5,500 円～/1 教科	14,300 円
ことばの学校	小 1～中3	1	国	7,260 円	7,700 円
中学受験コース	小4	2	国算	6,600 円	9,900 円
	小5～6	4	国算	6,600 円	15,620 円
	小6	6	国算理社	12,650 円	22,000 円

※小学英語 we can はｼﾞｭﾆｱ 1・2 のみ教材費 7,260 円
※ﾋﾞｰｷｯｽﾞ ぷらすの教材費は、学年・科目により異なります
※「実感算数」「こくごの達人」「小学英語」「ﾋﾞｰｷｯｽﾞ ぷらす」「ことばの学校」を複数受講されると、科目数に応じて合計額より割引をします。
（例）2コース受講で 1,000 円、 3コース受講で 1,500 円、4コース受講で 2,000 円割引になります。

◆授業料（附小入試対策コース）

コース	学年	授業数		教材費 模擬試験代	授業料 対策コースのみ	授業料 ピグマリオン併用
附小入試対策	年長	1ﾀｰﾑ（4～7 月）	全 12 回	4,950 円	8,800 円/月	ピグマリオン月謝+ 2,200円/月
		2 ﾀｰﾑ（8～11 月）	全 12 回	（教材）4,950円 （模試）4,950円	9,900 円/月	ピグマリオン月謝+ 3,300円/月
		3 ﾀｰﾑ（12～3 月）	全 12 回	（教材）4,950円 （教具）1,650円	6,600 円/月	ピグマリオン月謝+ 2,200円/月

※教材費・模擬試験代は各タームの初月のみ必要となります。

◆授業料(中1～3)

コース	学　年	コマ数/週	教　科	年間教材費	授業料
総合進学コース ※	中 1～3	4	英数/2教科	英・数　4,400 円/1 教科 理・国　2,860 円/1 教科 社　　5,720 円/1 教科	20,900円
		5	英数国/3教科		26,100円
		5	英数＋理または社/3 教科		25,300円
		6	英数国＋理または社/4 教科		30,500円
		6	英数理社/4 教科		29,700円
		7	英数理社国/5 教科		34,900円

※前学年のテキストが必要な場合 2,860 円/1 冊、
※社会は 2 冊購入のため年間教材費 5,720 円(中 1・2 地理・歴史　中 3 歴史・公民)

◆授業料(高 1～3)

	コース	回数/週	教科	年間教材費	授業料
集団授業 60 分授業	科目 1	1	英語 数学	3,960 円/1 教科 (9 月以降入塾の場合 年間教材費 1,980 円)	9,680 円
	科目 2	2			16,940 円
	科目 3	3			22,990 円
	科目 4	4			28,490 円
	科目 5	5			33,440 円
	科目 6	6			38,390 円

教科詳細　【英語】文法Ⅰ/ 文法Ⅱ/ 長文Ⅰ/ 長文Ⅱ/ ﾏｰｸ対策 /2 次対策
【数学】1 年 / 2 年 / 3 年(2 科目扱い)/ ﾏｰｸ対策 / 2 次対策
化学・物理の受講につきましては、お申し出ください。

◆授業料(個別指導ビーマイセルフ)

●1対3個別指導				
学　年	教　科	授業料		年間教材費
小学生	算数・国語・英語	**100 分/2 ｺﾏ/週**	**12, 100 円**	5,500 円/1教科 1 教科につき 2冊
		50 分/1 ｺﾏ/週	7, 700 円	
		150 分/3 ｺﾏ/週	16, 500 円	
		200 分/4 ｺﾏ/週	20, 900 円	
中学生	英語・数学 (理科・社会・国語)	**120 分/2 ｺﾏ/週**	**16, 500 円**	5,500 円/1教科 1 教科につき 2冊
		60 分/1 ｺﾏ/週	9, 900 円	
		180 分/3 ｺﾏ/週	23, 100 円	
		240 分/4 ｺﾏ/週	28, 600 円	
高校生	英語・数学	**120 分/2 ｺﾏ/週**	**19, 800 円**	2,750 円/1教科 1 教科につき 1冊
		60 分/1 ｺﾏ/週	12, 100 円	
		180 分/3 ｺﾏ/週	28, 600 円	
		240 分/4 ｺﾏ/週	35, 200 円	

●1対1個別指導				
小学生	算数・国語	60 分/1 ｺﾏ～/週	17, 600 円～	1 対 3 個別指導に準ずる
中学生	英語・数学	60 分/1 ｺﾏ～/週	17, 600 円～	
高校生	英語・数学	60 分/1 ｺﾏ～/週	22, 000 円～	

◆授業料（ロボットプログラミング）

コース	学　年	コマ数/月	年間教材費		授業料
自考力キッズ	小 1～小2	3	一括（2 年分）	38,500 円	9,900 円
エジソンアカデミー	小3～中1	2	一括（2 年分）	49,500 円	9,900 円
			分割（1 年分）	1 年目　30,800円	
				2 年目　19,800円	
				3 年目　7,700 円	

◆英検対策直前講座

コース	級	学年	授業時間	教材費	授業料	通常授業と併用の場合
英検対策直前講座 1 ターム　4 回講座	5 級	全学年	50 分	1,210 円	9,680 円	8,360 円
	4 級		60 分		11,000 円	9,680 円
	3 級		60 分		12,430 円	11,000 円
	準 2 級		90 分		18,260 円	16,500 円
	2 級		90 分		18,260 円	16,500 円

※特別講座扱いのため、入塾金・年間諸経費はかかりません

※3 級以上は、1 次試験合格者に対して面接対策講座を別途実施します

◆講習費

夏期講習、冬期講習、春期講習、その他特別講習に参加された場合は実費をいただきます。

◇兄弟割引制度あり

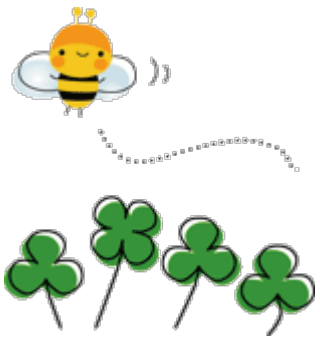
ご兄弟どちらかの授業料が 5,000 円引きとなります。（兄弟個々の当月授業料が 10,000 円以上の場合）

◇料金はすべて税込みです。

お電話・メールでのお問合せ

受付時間は午後1時～午後9時です。(日・祝日休み)

新西町校　0857-50-1366
※ ホームページお問い合わせフォームからのお問い合わせください。
ホームページ　http://www.bee-seminar.com

「無料体験授業」

当塾では無料体験授業を随時実施しております。お子様が実際に受講してみて、当塾で頑張れると感じていただけるかの確認をさせていただいております。
当然のことですが、大切なお子様をお預かりする以上、責任を持って指導させていただきたいと考えております。
そのためにはお子様自身が、当塾の授業に納得された上でご検討いただくことが大切だと考えております。
体験授業を受講されたからといって、無理な入塾勧誘は行いませんのでご安心ください。